



みのぶ



田植え作業(5月19日、沼田 昌樹さん、拓北)

■発行日/平成28年6月1日/No.1370号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

**J A長期共済一斉推進のお知らせ**

— 6月13日から5日間 —

本年度の長期共済一斉推進は、6月13日（月）から17日（金）までの5日間、2班体制で各戸を訪問させていただきます。

生命、終身、こども、建更の各共済の個別プランを作成しご提案いたします。また、生涯保障の終身共済、保障と貯蓄を備えた養老生命共済、先進医療を備えた新医療共済、がん共済、お手頃な掛金で確かな保障の定期生命共済、保障に貯蓄を備えた一時払養老、また老後に備える年金共済と介護共済が加わり、ますます充実した提案で推進を行います。

今回の一斉推進では、多くのニーズに応えられるお勧めプランを取り揃えて訪問させていただきますので、是非この機会にご家族でご相談いただき加入いただきますようお願いいたします。

なお、短期（使用月日）契約で加入いただきましたコンバイン共済の加入につきまして、「コンバイン共済の新規・継続推進」を本年度も実施することで、7月上旬に組合員皆さまのお宅を訪問させていただきますので宜しくお願ひいたします。

**第3回（4月定例）理事会開催**

4月26日開催の第3回（4月定例）理事会において次の事項が決定されました。

◇付議事項◇

- 理事が代表を務める法人の平成28年度クミカン取引の貸越極度額等の設定について
- 平成28年度農家経済再建対策及び債権管理組合員の選定について
- 規程・要領等の一部改正について
- 平成27事業年度業務報告書の作成・提出について
- コンプライアンス推進委員の選任について
- 持分の譲渡について

**一報徳**

**日本における総合組合の誇りと使命とは**

日本の協同組合の役割を理解するために、世界の中での存在はどのように

なものであるかを見てみます。あまり知らないかもしませんが、日本の協同組合は世界から注目され、その仕組みを知るため各国から、特にアジア諸国からの訪問が増えています。これは、開発途上国における協同組合

合育成の取り組みが多く困難に遭遇し、その原因の一つに欧米型の専門協同組合の導入にあつたことが要因だと反省されています。

世界の農業や漁業の主流は日本

のような中小規模の経営が大半を占めています。この経営を支える協同組合は、専門協同組合ではなく、日本にあるような総合事業を営む総合協同組合の組織が適していることが明らかになっています。大田原北大名誉教授によると「日本は小規模家族経営のまま農業生産力を大幅にアップすることができます。大田原北大名誉教授によるところに強さがある」といっています。

中規格経営の発展にとって総合協同組合が大きな役割を果たしている一方、地域コミュニティも大きな意味を持っています。経営面から見ると共同化や協業化、共同施設の相互利用など、地域での相互協力は規模のハンディを克服する有効な手段です。また、生活面では次世代を継ぐ子供の教育や文化活動など地域コミュニティの役割は重要です。これを維持発展するためには、「相互扶助・総合

**COOL-BIZ【夏の軽装】について**

実施期間 6月1日～9月30日

当JAでは、本年も夏の軽装に取り組むこととし、職員の服装は上着・ネクタイを着用しないなど軽装を実施いたします。

実施期間は、6月1日から9月30日までです。皆様には、何卒ご理解いただけますようお願いいたします。

(総務課)

型」の協同組合が適していますし、不可欠な存在でもあります。そしてコミュニケーションには「相互扶助」精神が根付いていて、協同組合の組織の基礎的価値観としても重要なことです。協同組合は人間が創り出した人道（人為）の産物であり、その組織をつくる人々の力を結集するためには、共通の価値観が必要となります。相互扶助精神という地域に根付いた価値観が協同組合を強くする原動力となっていることは、各地の優良協同組合事例を見ても明らかです。

(協同組合と報徳VI 協同組合の誇りと使命より)



開催の挨拶をする伊藤青年部長



苗の植え方を説明する上島営農専門委員長

**-食育-**  
**峰延小、南美唄小の児童が  
合同で田植え体験学習**

5月26日、JA青年部（部長  
伊藤隆史）とJA女性部（部長  
吉村俊子）が中心になり食育事業  
の取り組みで、沼田昌樹（拓北）  
さんの圃場を借りて、峰延小学校  
と南美唄小学校の2校合同で田植  
え体験学習が行われました。

最初に伊藤青年部長が「初めて  
の田植えで、秋にはいつも食べて  
いるお米になります。大切に育て  
た苗なので丁寧に植えてください。」  
と述べ、上島営農専門委員長

が苗の植え方を説明しました。  
当日は、暖かく風が強い中で行  
われ、ぬかる水田に足を取られさ  
らに強風に煽られ転んで泥だらけ  
になる児童がいました。

参加した児童は2校で24人（うち  
峰延小学校15人）、生徒数が少な  
くなってきたため今年は3年生から  
5年生までの児童が参加しまし  
た。児童たちは恐る恐る素足を水  
田に入れ、冷たさと泥の感触に悲  
鳴があがりましたが、直ぐに慣れ  
て泥だらけになりながら、徐々に  
ペースもあがり、一生懸命、丁寧  
に苗を植え、予定の面積に「きた

くりん」の苗を20分ほどで植え終  
えました。

最後に、それぞれの小学校の児  
童の代表が「泥がぬるぬるして気  
持ち悪かった」「慣れると楽しかつ  
た」等と感想とお礼を述べました。  
三浦青年部副部長が「秋に今日植  
えた稻の稻刈り作業体験がありま  
す。」と述べ無事に田植え体験学習  
を終えました。

### 平成28年度 中古農機展示即売会開催日程



毎年恒例で開催の中古農機展示即売会が次の日程で開催されます。お誘い合わせのうえご来場下さいますようお知らせいたします。

なお、中古農機インターネット情報（アルーダ）も是非ご利用ください。 [\[http://www.aruda.hokuren.or.jp/\]](http://www.aruda.hokuren.or.jp/)

開催地区	開 催 日 時	開 催 場 所
道 南	7月7日(木) 9時～16時	グリーンピア大沼 (森町字赤井川1229)
	7月8日(金) 9時～12時	
後 志	6月10日(金) 9時～16時	ニセコ花園 リゾート駐車場 (俱知安町字岩尾別 328-1)
	6月11日(土) 9時～15時	
空 知	7月2日(土) 9時～16時	南空知流通団地 (岩見沢市志文町 377-5)
	7月3日(日) 9時～15時	

\*日程・場所等につきまして、変更になる場合がありますので、事前にご確認願います。

\*展示会でのご購入の際に、本人確認のために「自動車免許証・保険証」等が必要になりますのでご持参ください。



慣れてきてペースが上がります

## 防ごう！ 農作業事故

農業機械は作業効率や利便性が高く農業には欠かせませんが、使い方を誤ると重大な事故につながる危険性をはらんでいます。

事故の多くは、農業機械を使用する際の安全確認が不十分であったり、操作を誤ったことが原因であり、死亡事故の多くは転倒・転落によるものです。また、高年齢者の事故の割合が増加しています。

皆さまは日々十分に気を配って作業に当たっていることだと思いますが、人間が作業するからには、必ず油断や不注意があります。万が一、事故に遭って後悔しないように今一度初心に帰り、農作業ゼロを目指して取り組みましょう。

### 農作業事故が起こる要因

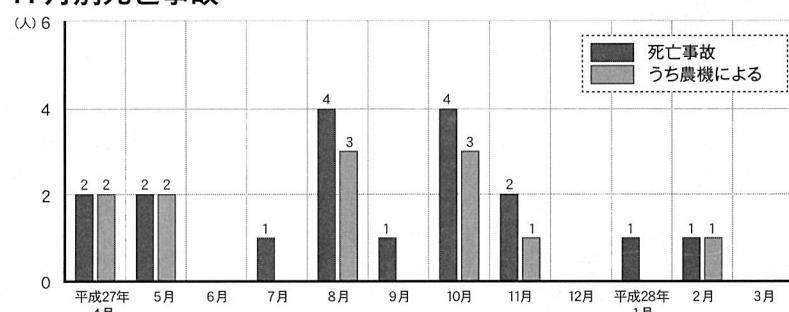
事故が起こる仕組みは、農機具や農作業環境といった「物的要因」と作業を行う本人の「人的要因」に分かれます。

現場に潜んでいる「物的要因」に「人的要因」が重なることで事故が発生するといわれています。人には失敗がつきものなので、失敗を完全になくすことは困難ですが、事故の原因になる不具合や失敗が起こらないようになります。未然に防ぐことができます。

### 農作業事故発生状況

北海道農作業安全運動推進本部(札幌市)がまとめた平成27年度農作業死亡事故速報(平成27年4月1日から平成28年3月31日)によると次の通りです。

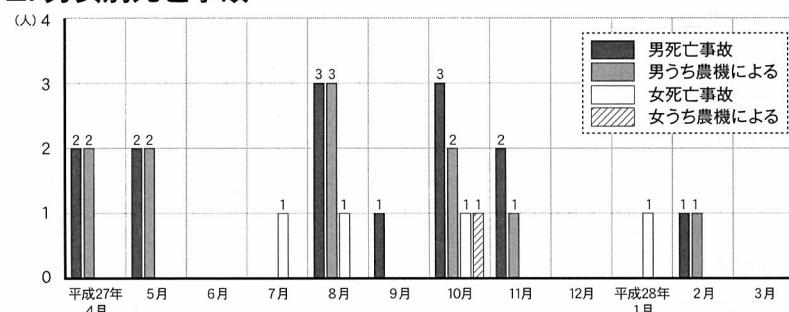
#### 1. 月別死亡事故



平成27年度の死亡事故を発生した月別にグラフ化したもので、8月、10月が多く、次いで4月、5月の順になっています。過去10年のデータも同様の発生傾向です。負傷事故の発生状況は過去10年のデータで、9月(11.8%)が最も多く、次いで5月(11.0%)、10月(11.0%)、8月(10.3%)の順となっています。

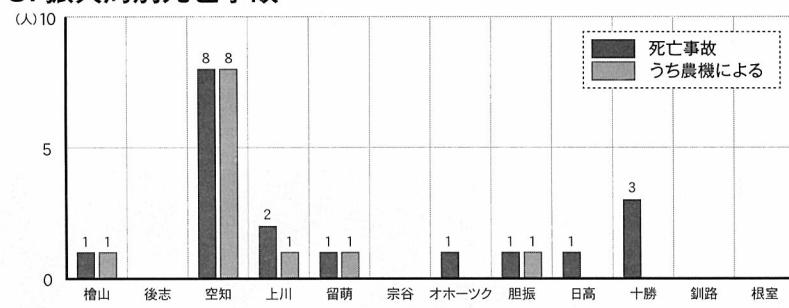
発生原因別では、平成27年度の死亡事故18件のうち農機によるものが12件で約67%を占めています。過去10年のデータでも農機事故が死亡事故の約77%を占めています。同データで負傷事故の約30%が農機事故です。

#### 2. 男女別死亡事故



平成27年度の死亡事故を月別・男女別にグラフ化したものです。死亡事故18件のうち男性が14件(77.8%)でうち11件が農機事故、女性が4件(22.2%)でうち1件が農機事故となっています。

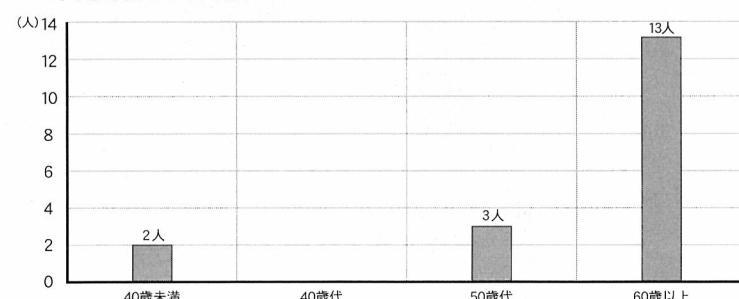
#### 3. 振興局別死亡事故



平成27年度の死亡事故を振興局別にグラフ化しました。死亡事故18件のうち空知が8件(44.4%)でトップ、次いで十勝3件(16.7%)、上川2件(11.1%)となっています。空知の8件は全て農機事故となっています。

過去10年の死亡事故データでは、オホーツク(17.3%)、十勝(16.8%)、上川(13.9%)、空知(12.5%)、後志(8.2%)の順となっています。同様に負傷事故は、十勝(21.9%)、オホーツク(16.3%)、空知(12.0%)、釧路(8.5%)、上川(8.0%)となっています。

#### 4. 年齢別死者数



27年度の死亡事故を年齢別にグラフ化したものです。死亡事故18件のうち、60歳以上の高齢者が圧倒的に多く72.2%、次いで50歳代16.7%、40歳未満11.1%となっています。過去10年の死亡事故データでは、60歳以上(60.1%)、50歳代(22.1%)、40歳代(7.7%)の順となっています。

負傷事故は過去10年データでは、最も多いのは60歳以上(33.0%)、次いで50歳代26.0%となっています。

## 5. 事故原因別死亡事故

農業機械	事故原因	死者者数(人)	構成比(%)	備考
農用トラクター	巻き込まれ	1	5.6	
	転倒・転落	2	11.1	
	ひかれ	0	0.0	
	はまれ	0	0.0	
	下敷き	3	16.7	
	計	6	33.3	
作業機	はまれ	3	16.7	・かくはん機
	ひかれ	0	0.0	・コンバイン×2
	その他	1	5.6	・スノーブロア
	計	4	22.2	
動力運搬機	転倒・転落	0	0.0	・ダンプカー
	ひかれ	1	5.6	・フォークリフト
	はまれ	1	5.6	
	その他	0	0.0	
	計	2	11.1	
その他		6	33.3	・熱中症×2・蜂・高所転落×2・窒息
内訳	小計(農業機械によるもの)	12	66.7	
	農業機械以外による事故	6	33.3	
合 計		18	100.0	

27年度の死亡事故を原因となった農業機械別・原因別に集計したものです。死亡事故18件のうち農業機械が12件で66.7%、そのうちトラクター6件(50.0%)で一番多く、次いでコンバイン、スノーブロア等の作業機が4件(33.3%)、ダンプカー、フォークリフトなどの動力運搬機が2件(16.7%)となっています。

## 万が一に備えて 「労災保険」に加入しましょう！

ゆとりをもって安全な農作業を心がけることが肝心ですが、万が一の事故に備えて『労災保険』に加入しましょう。一定の要件を満たしていれば自営農業者本人が加入できる『特別加入制度』が用意されています。

お問い合わせ先 JAみねのぶ 融資課 ☎0126-67-2331



おいしさ  
北海道産牛丼

全道合計  
5,000名様  
にプレゼント！

みんなでおいしい北海道  
ドドーン&ちよ

夏のキャンペーン  
6/1水 ▶ 7/29金

期間中、定期貯金・定期積金を一定条件でお預入のお客様に抽選でおいしい北海道を“ドドーン”とプレゼント！

**A賞 100名様**  
ドドーンと豪快！  
お肉6kgセット！  
4万円相当

牛・豚・羊のお肉のセットを2回に分けてお送りします。  
 ●北海道十勝産／サーロインステーキ(140g×6枚)  
 ●北海道平野産／びらり和牛牛カビ(700g)  
 ●北海道産／北海道産豚肉アソート  
 ロースしゃぶしゃぶ用(280g×3)ロース生姜焼用(450g×2)  
 バラしゃぶしゃぶ用(280g×3)  
 ●北海道上富良野産／地養豚ロースとんかつ・すきやき  
 どんかつ用(100g×5)すきやき用(500g×2)  
 ●北海道瀬棚産／サフォークラム(300g×3)

**B賞 400名様**  
ドドーンと選べるセレクト③  
3つ選べる全道のJA特産品  
1万円相当  
全道のJAから新鮮な農畜産物を抽選して集めた  
「全道のJAおすすめ特産品」から3品をお選びいただけます。

**C賞 500名様**  
ドドーンと選べるセレクト①  
1つ選べる全道のJA特産品  
3千円相当  
全道のJAから新鮮な農畜産物を抽選して集めた  
「全道のJAおすすめ特産品」から1品をお選びいただけます。

※写真はイメージです。

**4,000名様**  
ドドーンとWチャンス！  
各賞にはぜれてもチャンス！

「全道のJAおすすめ特産品(3千円相当)」もしくは  
「農協全国商品券(3千円)」を抽選でプレゼントします！

JAバンク 北海道  
<http://www.jabank-hokkaido.or.jp>

ILLUMS×JAバンク  
さらば失せ者 サマーバッグ  
プレゼント

期間中、ご契約いただいたお客様にプレゼントいたします。  
契約内容等、プレゼント条件につきましてはお近くのJAに  
お問い合わせください。  
※お一人様1口で1回限りの抽選となります。  
【応募方法】窓口でお渡しする応募用紙に必要事項を記入し、  
窓口へお持ちください。  
【当選発表】商品のお届けをもって代えさせていただきます。  
(抽選は平成28年8月予定)

【注意事項】当選者の権利は譲り譲れ、商品の交換・換金にはおじられません。今後お預入され定期預金または定期積金を中心解約された場合は、当選の権利を失います。

お問い合わせ先 JAみねのぶ 貯金課 ☎0126-67-2114

～第28回 JA北海道大会(平成28年11月11日開催) パネルディスカッション～

## 「550万人と共に創る『力強い農業』と 『豊かな魅力ある農村』」の実現に向けた農業の魅力発信

北海道農業協同組合中央会 副会長 内田 和幸 氏

J A北海道大会で開催したパネルディスカッションでパネリストの皆さんから提言頂きました「北海道農業とJAグループに期待すること」をシリーズで紹介しています。



内田 和幸 氏

北海道農業協同組合中央会 副会長

最終回は、JAグループを代表してJA北海道中央会内田副会長からの提言を紹介します。「力強い農業」、「豊かな魅力ある農村」の実現に向けた組合員の役割

北海道の農業は今まで非常に過酷な条件の中で、先人たちが長年にわたって築いてきた。食料基地としての大きな役割を担っている。自信と誇りを持つて、これからの大変化の時代に立ち向かっていくといけない。

農業者一人一人も大きな力ではあったが、そこに協同組合があつたからこそ、ここまで発展してきたこと

JA北海道大会で開催したパネルディスカッションでパネリストの皆さんから提言頂きました「北海道農業とJAグループに期待すること」をシリーズで紹介しています。

最終回は、JAグループを代表してJA北海道中央会内田副会長からの提言を紹介します。「力強い農業」、「豊かな魅力ある農村」の実現に向けた組合員の役割

大会決議には、農業所得20%増大、新規就農者の倍増、流通改革、生産コストの削減など具体的なことがあるが、いずれも一人ではできない。

北海道農業は、それぞれの地域の中につけて、欠かせない産業。地域を味方に付ける、より農業の理解者を味方に付ける。北海道の農産物は安心安全、そしておいしいと言われ、さらに地域貢献をしながらJAの協同の素晴らしい力を発信していく必要がある。そういう積み重ねが道民550万人の支持につながっていく。そして、理解者につながり、応援団になつていくと思つていい。

J A組織は、今まで色々と組合員の所得確保のため

の力を大事にしていかなければならぬ。こういう時こそ農協に結集して、團結力、組織力を發揮しないと、これからの時代は乗り切つていけない。一人よりも十人、十人よりも百人ということで意思の結集を通じながら難局を乗り切つていかなければならぬ。時代にどうやつて適応しながら、臨機応変に柔軟に対応していくか、ということが今後求められる。そのことによつてさらに農家組合員の所得、また経営が安定するような近道になればと思つております。あえて言わせて顶いた。

### 最後に一言

私たち、道民・国民に安心安全な食料を供給しているという、大きな役割を



に改革を行ながら進んできた。しかし、それ以上に時代の流れは速く、その時代にどうやつて適応しながら、臨機応変に柔軟に対応していくか、ということが時代にどうやつて適応しながら、臨機応変に柔軟に対応していくか、ということが時代にどうやつて適応しながら、臨機応変に柔軟に対応していくか、ということが時代にどうやつて適応しながら、臨機応変に柔軟に対応していくか、ということが時代にどうやつて適応しながら、臨機応変に柔軟に対応していくか、ということが時代にどうやつて適応しながら、臨機応変に柔軟に対応していくか、ということが時代にどうやつて適応しながら、臨機応変に柔軟に対応していくか、ということが時代にどうやつて適応しながら、臨機応変に柔軟に対応していくか、ということが時代にどうやつて適応しながら、臨機応変に柔軟に対応していくか、ということが時代にどうやつて適応しながら、臨機応変に柔軟に対応していくか、

担つてゐる。

そのことには自信と誇りをもつていい。北海道のなかで農業をこれ以上衰退させないようにしつかりと取り組みをしていかなければならない。

もつと外に向かつて、農業の良さ、食、そしてまた農業に取り組む姿勢を発信していかなければならない。

そのことが、道民550万人と共に創る力強い北海道農業、豊かで魅力ある農村の実現に必ず結び付く。

3年間一緒に頑張りましょう。